

令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人济世学園 济世第二幼稚園

1. 本園の教育方針

子どものうちにもっている自発性や好奇心、やりたがりの精神を引き出し育てる。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念・教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について自己管理・自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り教育内容の改善に取り組んで行く。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	保育の在り方	教育方針を理解し、保育内容や指導計画作成に活かすことができた。幼児への対応も個別的な指導計画のもと、丁寧な保育ができた。
2	教師としての資質や保育の質の向上	園の方針に則り、教職員一同協力して知識や技術の獲得の為研修を重ねて、日々の保育の中に反映できた。様々な研修会に積極的に参加し園内公開保育を行い、保育技術の向上に努めた。
3	保護者への対応	たよりや行事の機会を捉えて、園の教育方針を伝え信頼関係を構築した。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

課題について、全教職員が認識し、自己点検・自己評価に取り組むことで自ら保育を振り返るばかりでなく、様々な課題を見出すことができた。今後もより良い園経営の為に継続して実施していくことを共通理解した。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全管理	地震・火災などの災害に備えて、危機意識の向上を図る。
2	地域との連携強化	地域に愛される園を目指して、地域との連携に一層努める。
3	教職員間の協力	学年に関係なく他学年の指導計画も把握し、協力体制も強化する。

6. 学校関係者の評価

教職員の熱心な指導のもと、子どもたちがのびのびと自分を出せる環境で生活している様子が、見られた。幼稚園の教育方針も一人ひとりを大切にしたいきめ細かい保育がなされ、子どもを中心に置いた園づくりがされている様子は大変好ましい。また、保育の質の向上のために多くの研修にも参加し園内公開保育を実施している。

今後はその内容を保育に反映して行ってほしいと願う。

7. 財務

公認会計士により適正であると認められている。

